

2015年度「ロジスティクス大賞*」受賞**～ ITを活用した配送効率向上によりドライバー・トラック不足の解消へ ～**

大塚グループの物流を担う大塚倉庫株式会社（本社：大阪市港区、代表取締役社長 濱長 一彦、以下「大塚倉庫」）は、物流業界が抱えるドライバー不足・トラック不足を解消する仕組みを構築したことが評価され、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会より2015年度「ロジスティクス大賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。

■ 「ロジスティクス大賞」受賞の理由

『共通プラットフォームの進化～2回転配送を実現してトラック不足を解消する仕組み～』と題した論文は、メーカー、物流会社、配送パートナー、納品先等、全ての関係者にとってメリットとなるよう徹底的な現状把握と各課題の解決策を提示し、特に「ID運輸」と呼ばれる独自の配車システムにより、配送パートナーの配送効率向上の支援を行っていることは優れた取り組みであると高い評価をいただき、受賞に至りました。

■ 「共通プラットフォーム」の進化

大塚倉庫は、大塚グループの製品を主軸に医薬品、飲料・食品、日用品の物流を他企業の製品と組み合わせ、空間を有効活用することで配送パートナーのトラックの積載率を向上させ、物量波動を平準化する「共通プラットフォーム」戦略を推進しており、この取り組みが評価され、2013年度ロジスティクス大賞経営革新賞を受賞いたしました。

今回、この「空間の有効活用」に「時間の有効活用」という考え方をプラスし共通プラットフォームを進化させました。スマートフォンを活用した独自の自動配車システムを配送パートナーに提供し、午前に偏りがちな配送を平準化させ、配送効率アップを実現することにより、人手不足、トラック不足を抱える配送パートナーの課題を解決し、ともに成長する仕組みを構築しました。

大塚倉庫は、大塚グループの企業理念である'Otsuka-people creating new products for better health worldwide'のもと、人々のより豊かで健康な暮らしに貢献するメーカー物流会社として、今後も引き続き共通プラットフォームを提唱し、更にメーカーの物流共同化を進め、物流の効率化のみならず、社会に貢献できるプラットフォームを進めてまいります。

* ロジスティクス大賞は、ロジスティクスの社会的浸透と、ロジスティクス部門関係者の意識高揚を図ることを目的に創設され、企業で行われているロジスティクス高度化への取り組みと、その優れた実績を顕彰するもので、今回で第32回を迎えます。評価は「創造性」「成果度」「経営革新度」「技術革新度」「社会性」「努力度」の6つの基準で行われます。

以上